

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立城南中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>「学力向上」「不登校対策」において、成果指標（数値目標）を達成することができなかったが、その他の項目については、「ほぼ達成できた」「概ね達成できた」と評価でき、全体として良好な教育活動が展開できたと考える。</p> <p>「学力向上」：県学習状況調査の結果だけにとらわれず、普段の学習状況での評価と指導の一体化を図り、生徒の強みと弱みを確認して指導法改善に生かしていきたい。また、校内研究のねらいを明確化し、『学び合い』の考えを取り入れた授業内容の工夫改善を図ることで、学力向上に生かせるような取組としたい。</p> <p>「不登校対策」：学校が安心できる場であると生徒が感じられるよう、まず、生徒の自己肯定感、自己有用感を向上させるため、開発的生徒指導を進めていきたい。また、学校行事等において生徒のコミュニケーション能力の育成を図り、良好な人間関係を構築させることで不登校の減少につなげたい。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>城南中学生としての誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成</p> <p>～「城南魂をもち主体的に学び、人の気持ちのわかる人」の育成を目指して</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習者を育む学習指導方法として、『学び合い』の考え方を軸とした授業の実現を図る。</li> <li>不登校を減らすために生徒指導の三機能を基盤とした開発的生徒指導の充実を図る。</li> <li>学校教育力向上を目的とした、地域との連携（城南中学校運営協議会、城南豊夢学園運営協議会）の活性化を図る。</li> </ul>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を85%以上とする。	・教科部会や学年部会において、教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							指導教諭 力久
	○『学び合い』の考え方を軸とした授業の実施	○県学習状況調査等において、正答率60%以上、無回答ゼロの生徒を80%以上とする。	・全教科で、『学び合い』の考え方を軸とした授業を実施する。 ・他教科や他クラスの良い面を取り入れ、活用するために合同授業を実施する。							吉岡 力久
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒を85%以上とする。	・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施する。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施する。							田中祥 陣川
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員を85%以上とする。	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に5回以上行う。							山口 吉武 山下 立切
	○不登校の未然防止・早期発見・早期対応に向けた組織対応	○月別報告書において、全校の不登校生徒の割合を3%以下とする。(前年度4.9%)	・定期的な教育相談アンケートやQUアンケート等を活用する。 ・専門性をもつ外部人材を活用した職員研修や生徒講話などを実施する。 ・SCやSSW、サポート相談員や関係機関、地域との連携を強める。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒85%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・生徒会を中心とした健康づくり、体づくりへの取組みの活性化を図る。							吉富 横尾
	○「安全に関する資質・能力の育成」	○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・交通安全教室の実施と自転車点検を保護者と連携して充実させる。							教頭 立切
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・月間平均時間外勤務時間数を月45時間以下とする。	・成績2期制の実施による、成績処理業務・通知表作成業務の縮減を図る。 ・校時限を変更し、会議開始時間を早める。 ・部活動時間の短縮を図る。							教頭 主幹教諭 指導教諭
	○文書処理の校務サーバーの利活用	○校務サーバーを使った文書データのやり取り、保存、整理をすることができたと答える職員を85%以上とする。	・職員間の文書データのやり取り、保存、整理を校務サーバーを通して行う。							教頭 松原

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○開かれた学校づくり	◎地域を愛し、地域に愛される生徒の育成 ・城南中学校運営協議会、城南豊夢学園運営協議会の活性化 ・家庭や地域との連携、小中連携の取組の深まり	◎地域のニーズや要望をしっかりと踏まえ、地域と共生、協働をめざす。 ・学校行事、学年行事などへの保護者の参加率を60%以上とする。	・CS協議内容を十分に検討し、豊夢学園のプロジェクトを推進し小中連携の充実を図る。 ・学校行事の日程や内容を不断に見直し、保護者の「見てみたい」「参加したい」という意識の高揚につなげる。							教頭 主幹 指導教諭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------